

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 11日 (日) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【女子決勝戦】 第2日目 Mコート 第3試合

チームA 実践学園 東京	77	22 1Q 32 18 2Q 24 21 3Q 22 16 4Q 18 OT	96	チームB 東京成徳大学 東京
----------------------------------	-----------	----------------------------------------------------	-----------	------------------------------------

実践学園

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	清水 愛咲美	27	1	3	10	32	4	4	4	2	7	7		2	3	40
5	水田 麗	12			6	10			2		2	3	3	7		40
6	吉松 祥子	16	1	3	6	19	1	3	2	5	3		2	2		37
7	牧野 千穂	8			4	9			2	1	1	2			4	25
8	安斎 琴葉	7	2	6			1	1	2	4	1	1				15
9	北畠 瑛利子										1					4
10	新井田 迪	7	1	6	2	4			1	1	1	1	1	1		28
11	浦野 紗恵梨															DNP
12	赤羽 絵美															DNP
13	篠崎 睦															DNP
14	山本 貴里															DNP
15	斎藤 愛佑美								1	1	2					11
16	須藤 千尋															DNP
17	石原 あかね															DNP
18	志村 安諭香															DNP
コーチ	村松 啓三															
		77	5	18	28	75	6	9	16	11	18	13	6	12	7	200
		確率	27.8%	37.3%	66.7%				計	29						

東京成徳大学

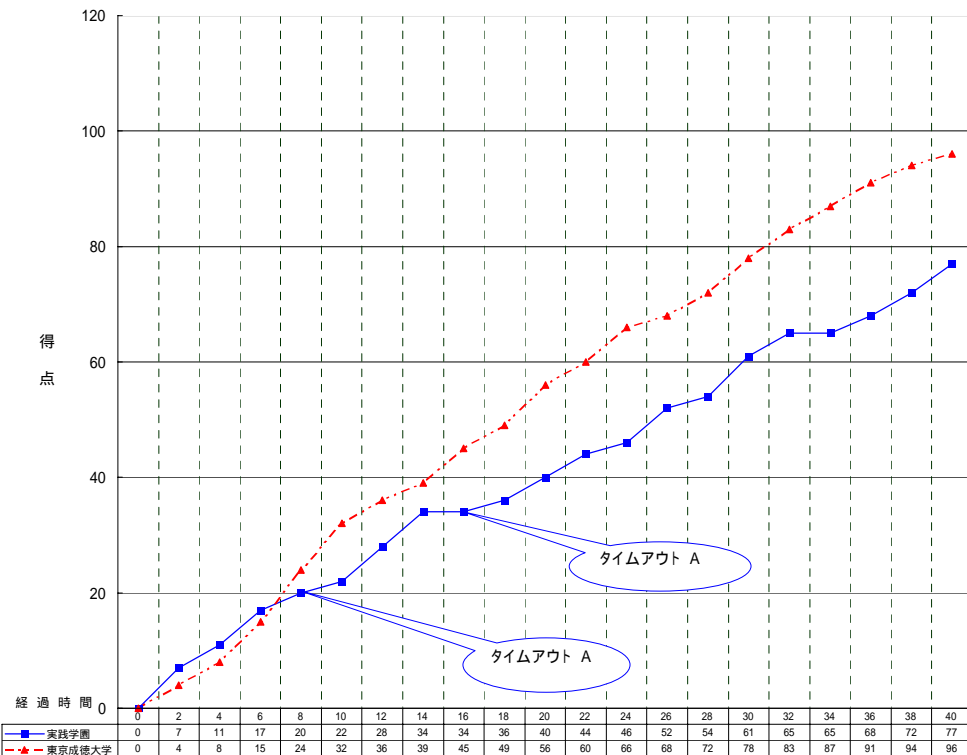
番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	本田 雅衣	8	2	6	1	5			3	2	7	1	1	6	2	38
5	光山 慈能	21	2	5	7	18	1	3	1	6	4	2		3		40
6	天野 佳代子	18			9	19			2	4	4	1	1	3	4	40
7	間宮 佑圭	24			11	22	2	3	3	2	7	3		3		33
8	富田 夕貴			1		1				2						2
9	片山 浅美															DNP
10	田尻 泰葉															DNP
11	工藤 安沙子															DNP
12	岡元 真由子															DNP
13	水野 圭子	2			1	7				4		2				7
14	宮崎 優子	23	1	3	9	11	2	3	1	1		2	3	3	1	40
15	岡本 明子															DNP
16	高橋 美穂															DNP
17	野間 星来															DNP
18	金子 知佳															DNP
コーチ	下坂 須美子															
		96	5	15	38	83	5	9	10	21	22	11	5	15	10	200
		確率	33.3%	45.8%	55.6%				計	43						

スターティングメンバー

出場選手

2分毎による得点の推移

■ 実践学園 ◆ 東京成徳大学



戦評

東京都代表同士の決勝戦。ここまで危なげなく勝ち上がってきた東京成徳と準決勝の激闘を制した実践学園、ゲーム立ち上がりお互い点数の入れあいとなりハイスコアなゲームの様相。両チームともハーフコートマンツーマン。残り5分東京成徳#4本田のルーズボールからの速攻で得点につなげると徐々に流れは東京成徳へ。東京成徳#14宮崎がコート縦横無尽に走り回りスティールから得点を決め、32-22で東京成徳リードで第1P終了。流れを取り戻したい実践学園、#6吉松がミドルショットを決めるも、その後の攻撃でボールがうまくつながらない。対する東京成徳は、良い流れのまま、縦につなぐバスケットを展開し、#5光山から#6天野、#7間宮へのプラインドをつく攻撃や#14宮崎のドライブインなどで実践学園を翻弄し、40-56で東京成徳リードで前半終了。第3P、実践学園#4清水が残り5分で4ファウルでますます苦しくなりゲームをコントロールできない。東京成徳はディフェンスの手を緩めることなく(第4Pへ、第4P、実践学園はディフェンスを1-3-1ゾーンに切り替えるも、流れを変えるまでにはいならず、パスを自在につなげてディフェンスを動かした東京成徳が確実に得点につなげ、96-77で試合終了。終始、余裕のゲーム運びで東京成徳が優勝した。東京成徳は3連覇達成。

主審 安西 郷史(指名)

副審 山田 健一(茨城)

記入者 長谷川 智子